

製品名: 5-LO (リン酸化Ser272) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04192**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|----------------------------------------------------|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|------------------------------------------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 78kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 遺伝子名 | ALOX5 |
| 別名 | ALOX5; LOG5; Arachidonate 5-lipoxygenase; 5-LO; 5-lipoxygenase |
| 遺伝子 ID | 240.0 |
| SwissProt ID | P09917 |
| 免疫原 | 抗血清は、Ser271 のリン酸化部位周辺のヒトアラキドン酸 5 リポキシゲナーゼ由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 246-295 |

背景

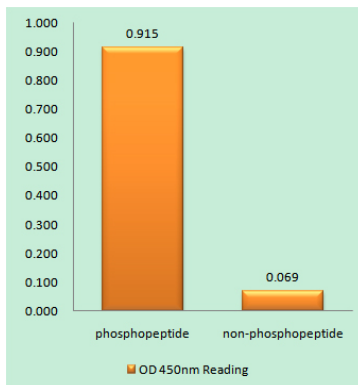
この遺伝子はリポキシゲナーゼ遺伝子ファミリーのメンバーをコードし、アラキドン酸からロイコトリエンを合成する二重の役割を

果たします。骨髄由来細胞で特異的に発現するこのタンパク質は、アラキドン酸から 5(S)-ヒドロペルオキシ-6-トランス-8,11,14-シス-エイコサテトラエン酸への変換、そしてさらにアリルエポキシドである 5(S)-トランス-7,9-トランス-11,14-シス-エイコサテトラエン酸 (ロイコトリエン A4) への変換を触媒します。ロイコトリエンは、多くの炎症性およびアレルギー性疾患の重要なメディエーターです。この遺伝子のプロモーター領域の変異は、喘息治療に使用される抗ロイコトリエン薬に対する反応を減弱させ、動脈硬化症やいくつかの癌にも関連する可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2012 年 1 月],触媒活性: アラキドン酸 + O(2) = ロイコトリエン A(4) + H(2)O.,補因子: サブユニットあたり 1 個の鉄イオンを結合する。補因子: サブユニットあたり 2 個のカルシウムイオンを結合する。機能: ロイコトリエン合成の最初のステップを触媒し、炎症プロセスにおいて役割を果たす。経路: 脂質代謝; ロイコトリエン A4 合成。PTM: MAPKAPK2 によるセリンリン酸化はアラキドン酸によって刺激される。PKA による Ser-523 のリン酸化は阻害効果を有する。Ser-272 のリン酸化は核からの輸送を阻害する。類似性: リポキシゲナーゼファミリーに属する。類似性: リポキシゲナーゼドメインを 1 つ含む。類似性: PLAT ドメインを 1 つ含む。細胞内局在: 細胞質と核の間を往復する。Ser-272 がリン酸化されると、核内にのみ存在する。カルシウム結合により、細胞質および核マトリックスから核膜および膜結合への移行が促進される。サブユニット: ALOX5AP および LTC4S と相互作用する。、

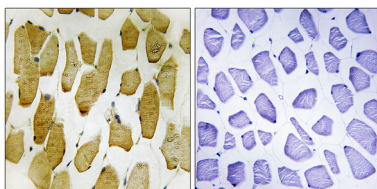
研究分野

アラキドン酸代謝;

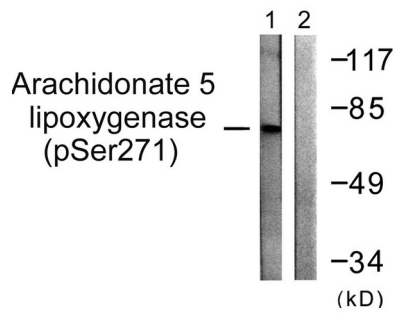
画像データ



アラキドン酸 5 リポキシゲナーゼ (リン酸化 Ser271) 抗体を用いた、リン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



アラキドン酸 5 リポキシゲナーゼ (リン酸化 Ser271) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト骨格筋の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



アラキドン酸5リボキシゲナーゼ（リン酸化 Ser271）抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。